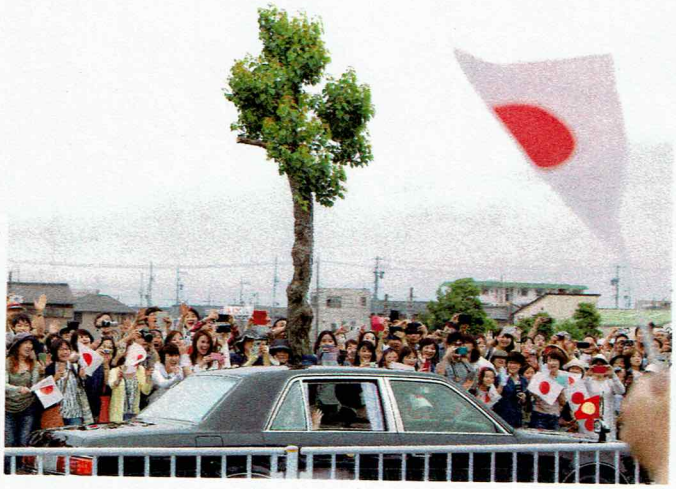
発行月：令和元年 6月　家族新聞　第593号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878



1　12版　第27514号　（昭和17年9月1日第3種郵便物認可）

全国植樹祭の式典会場で、苗木を植えられる天皇、皇后両陛下＝2日、愛知県尾張旭市の県森林公園で（代表撮影）

「健全な森を次世代へ造るのは私たちの使命」

両陛下 尾張旭で植樹祭

即位後初の地方訪問として愛知県を訪れている天皇、皇后両陛下は二日、尾張旭市の県森林公園で開かれた全国植樹祭の式典に出席された。天皇陛下はお言葉で「健全な森を次世代のために造っていくことは、私たちに課せられた大切な使命であると考えます」などと述べた。

＝お言葉全文⑫面、関連㉓面

植樹祭は昭和時代から天皇、皇后が出席する重要な地方訪問の一つ。上皇さまが天皇在位中の二〇〇九年から高齢に伴う負担軽減のため式典でのお言葉は原則取りやめており、植樹祭での天皇のお言葉は十一年ぶり。記念植樹で陛下はスギ、皇后さまはシデコブシなど計六種類の苗木を植えた。ヒノキやハナノキなど計四種類の種もまいた。

お言葉 11年ぶり

「自然の叡智」をテーマに掲げ、国内外から二千三百万人余りが訪れた愛知万博（愛・地球博）から十四年。尾張旭市の県森林公園で令和元年、即位後初の地方訪問として天皇、皇后両陛下が第70回全国植樹祭の式典に出席された。

天皇、皇后両陛下の元気な姿を拝見して、植樹祭に出席させて頂いた感動は一生忘れることは出来ないと思います。新天皇陛下は平ばつや水害など社会問題をライフワークと位置づけられている。

研究と公務の融合に意欲を持たれているともいわれる。皇室の役割の一つである国際親善も、令和には令和のかたちが作られていくのかもしれない。外交官出身の皇后雅子さまも助力を尽くされるなろう。ただし折からの健康の心配もある。無理はなさらず公務にそしんでいただきたい。手をひいてすくいあげる力があるなら。少しの時があったとしても、国民は優しく見守ることだろう。

両陛下は式典後、肢体不自由児や重症心身障害者の医療・療育施設「県三河青い鳥医療療育センター」（岡崎市）を訪問。レクリエーション活動の車いすダンスなどを見学し、中部空港発の特別機で同日夜に帰京した。皇后さまは、二日間全ての行事を務めた。

元号のこめられが示すように、おきな穏やかな皇室を育まれることを。

一部記事は中日新聞掲載の記事を取り上げました。
写真につきましては当団体の撮影許が取れました。